

都道府県向け 公費負担システム (指定難病／小児慢性)

特定医療費(指定難病)助成制度に必要な業務を包括的にサポートするシステムです。受給者管理、指定医・医療機関管理、公費負担請求管理をワンストップで実現し、マイナンバー連携やPMH連携にも対応しています。

メリット	内容
業務効率化	申請受付から受給者証発行まで一貫したデータ管理で事務作業を大幅削減
マイナンバー連携	課税・保険情報の自動照会により書類確認の手間を軽減
統計資料自動作成	衛生行政報告例等の法定帳票をボタン一つで出力
一元管理	受給者・指定医・医療機関の情報を同一システムで管理

システムの特長

過誤判定機能

支払い実績と
登録データを突合



CSVデータを取り込み過誤判定が可能。(受給者番号のチェック、有効期限、自己負担上限額、公費負担番号のチェック)

扱いやすいUI

高いユーザビリティの
実現



全ての職員さまが扱いやすいメニュー表示、入力支援機能を実装しています。

利用人数・台数

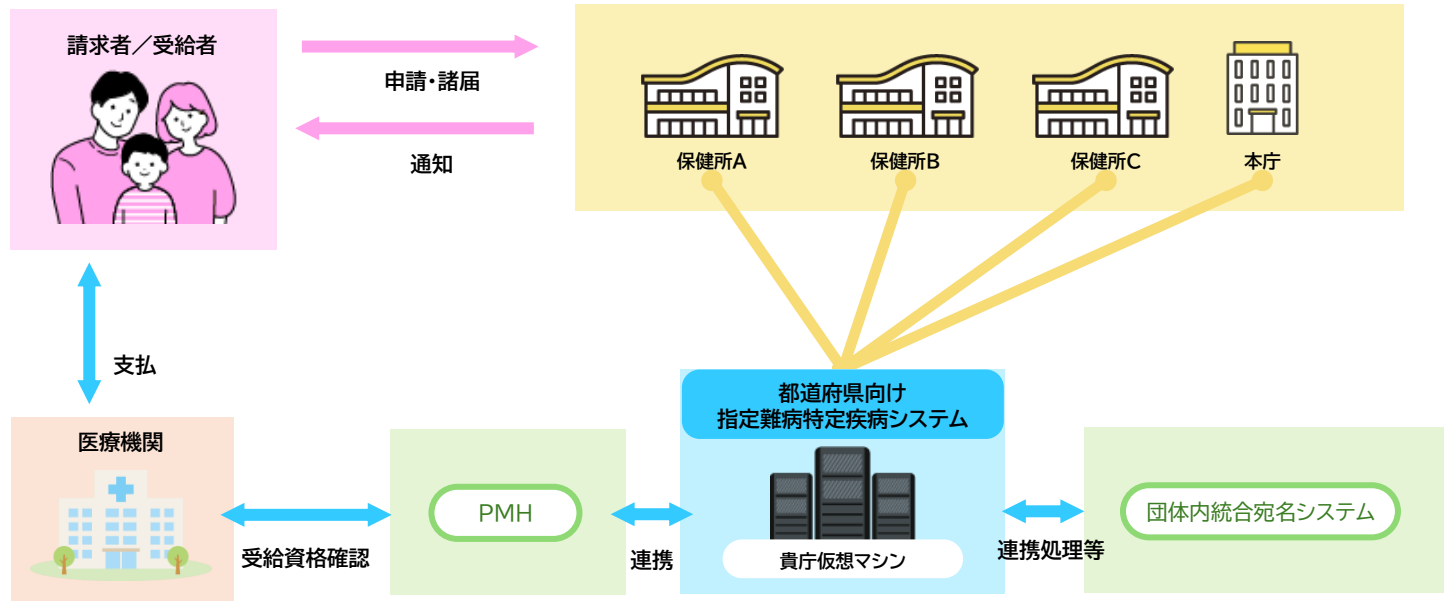
何人(何台)でも
利用可能



クライアント増設に伴い、システム側で追加の費用は発生いたしません。

多彩な機能を備え、操作性・拡張性・信頼性を兼ね備えた都道府県向けシステムです

本システムは、自治体様内の個人番号利用事務系NW内の仮想マシン等に構築し、本庁及び福祉事務所等にてご利用頂いています。システム利用者間でのリアルタイムでの連絡・通達が可能となり、情報連携の強化・業務の効率化を実現します。



機能一覧(一例)

受給者管理	各種申請(新規、更新、記載事項変更、保険・所得の変更、再交付、返還)の登録を行う。
審査会	審査会資料作成や審査会結果入力を行う。
指定医・指定医療機関管理	指定医の登録や医療機関の認定登録を行う。
受給者証発行	審査会で認定となった対象者の受給者証発行を発行する。
PMH連携	国のPMH(Public Medical Hub)に受給者情報の連携を行う。
統計関係	厚生労働省に提出する資料等の作成を行う。
マイナンバー管理	受給者等の宛名情報の検索・登録を行う。また、マイナンバーに係る情報連携処理を行う。
マスタ保守	各種マスタのメンテナンスを行う。

都道府県の福祉分野業務システムで高いシェアとノウハウを積み上げてきた実績を基に、事務の省力化・効率化、制度改革等への確実な対応、コスト削減などの実現に寄与するパッケージ製品のご提供を行ってまいります。

